

令和 7 年度浦安市教育委員会 7 月定例会会議録

浦安市教育委員会

令和7年度浦安市教育委員会7月定例会

- I. 日 時 令和7年7月3日(木)
開 会 午後3時00分
閉 会 午後3時38分
- II. 場 所 文化会館3階 中会議室
- III. 進 行 教 育 長 船 橋 紀美江
- IV. 出席委員 教育長職務代理者 宮 道 力
委 員 吉 野 則 子
委 員 影 山 純 二
- V. 出席説明者 教 育 総 務 部 長 秋 本 豊
教育総務部次長(教育総務部技監) 泉 澤 一 欽
教育総務部次長(教育政策課長) 村 上 陽 子
教育総務部副参事(教育総務課長) 鈴 木 章 仁
教 育 政 策 課 主 幹 小 倉 隆 志
教 育 施 設 課 長 木 戸 口 宏 志
学 務 課 長 鳥 海 勉
指 導 課 長 宮 崎 智次郎
指導課主幹(教育センター所長) 青 山 陽 子
指 導 課 主 幹 小 黒 拓
保 健 体 育 安 全 課 長 峯 崎 泰 利
千鳥学校給食センター所長 菅 谷 研 一
生 涯 学 習 部 長 近 藤 敏 彰
生 涯 学 習 部 次 長 本 川 昇
生涯学習部副参事(生涯学習課長) 斉 藤 恭 一
(青少年センター所長)

生涯学習部副参事(中央図書館長)	森田志織
市民スポーツ課長	小泉和久
郷土博物館長	島村嘉一
高洲公民館長	佐藤良平
中央公民館長	増田丈巳
堀江公民館長	田中賢司
富岡公民館長	森田和徳
美浜公民館長	佐藤栄一
当代島公民館長	高梨誠二
日の出公民館長	北村章代
中央図書館副館長	三輪進也

VI. 傍聴人 1名

VII. 案 件

第1. 会議録の承認

1. 令和7年度浦安市教育委員会5月定例会会議録の承認について

第2. 教育長からの一般報告

第3. 審議事項

議案第1号 浦安市立学校職員安全衛生管理規程の一部を改正する訓令の制定について

議案第2号 令和7年度学校地域連携運営協議会委員の委嘱について

第4. 協議事項

第5. 報告事項

1. 教育委員会共催・後援行事一覧
2. 令和7年度浦安市児童生徒科学作品展について

3. 令和7年度教育実践事例発表会について
4. 第45回浦安市小・中学校音楽鑑賞教室実施報告
5. 令和7年度千葉県小中学校体育連盟市川・浦安支部中学校総合体育大会
開催案内
6. 第44回浦安市小学校陸上競技大会開催報告
7. 第9回浦安市写真展開催案内
8. うらやす弦楽器体験会2025開催案内
9. 第45回浦安市美術展開催案内
10. 浦安アートプロジェクト「浦安藝大」「まちみる茶会」ワークショップ開催案内
11. (仮称)子ども・子育て支援複合施設整備事業(基本計画)について
12. 令和6年度企画展「浦安の漁撈—刺網漁—」開催報告
13. 令和7年度夏休み企画展「もっと知りたいふるさと浦安」開催案内

第6. 教育委員からの一般報告

第7. その他

開 会 (午後 3 時00分)

船橋教育長 これより令和7年度浦安市教育委員会7月定例会を始める。
議事に入る前に、6月定例会の資料に訂正があったため、事務局より説明を求める。

島村郷土博物館長 議案第6号 浦安市郷土博物館協議会委員の委嘱について、12ページ、委員の任期を令和7年6月30日から令和9年6月30日に訂正させていただく。

次に、報告事項の9. 令和6年度郷土博物館事業報告について、参考資料1ページ、1. 入館者数の1日平均のなかで、令和5年度の153人が378人となり、増減204人を△21人に訂正させていただく。また、参考資料14ページ、見出し番号の4番 活動内容を3番 活動内容に、5番 成果と課題を4番 成果と課題に訂正させていただく。

船橋教育長 それでは、議事に入る。
議事の第1. 会議録の承認である。
令和7年度浦安市教育委員会5月定例会会議録について、承認いただけるか。

(「異議なし」の声あり)

船橋教育長 異議がないので、令和7年度浦安市教育委員会5月定例会会議録については承認された。なお、会議録の承認に当たり、会議録の署名を影山委員に願います。

次に、議事の第2. 教育長からの一般報告に移る。

私から報告する。

まず、6月7日に行った小学校陸上競技大会について報告する。

本年度も市のブリオベッカ競技場において、すべての市立小学校の参

加のもと実施した。当日は好天に恵まれた一方で体がまだ暑さに慣れていない子どもも多いなか、熱中症を心配したが、応援席にはテントが張られ、こまめな水分補給や子ども達への声掛けなど、各学校のきめ細かな対応により無事に執り行うことができた。早朝からのテント設営やこれまでの指導、当日の引率など各学校の先生方、また、審判等、当日の運営にかかわった役員の皆様に感謝している。開会式での私からの挨拶では、子ども達に「自分の力を信じ、自分の可能性を信じて、出せる力を思い切り発揮してほしいこと、たくさんの人達が応援していること」を伝えた。選手達は、どの子どもとても頑張っていた。自己ベストを更新した子どももいたようで、順位だけでなく、自分なりの目標に向かって精一杯頑張る姿は立派であった。選手の頑張りだけでなく、応援席の子ども達が仲間の選手に大きな声援を送り、一生懸命応援する姿もとてもすがすがしく、素敵だった。保護者の方々もたくさん応援に来て、子ども達に温かい拍手と声援を送っていただいた。今年から各種目で1位になった選手はその場で表彰をした。応援してくれた友達や家族の前で表彰された子ども達はどの子ども達成感に満ちた素敵な笑顔であった。これからの自信につなげてほしいと思う。

6月16日には、南小学校で市長・教育長とのランチミーティングを行った。6年生の子ども達と一緒に給食をとった後、グループごとに浦安のよいところや、これからの浦安について調べたことの発表があった。伝統的な文化や行事の継承に加え、安全なまちづくり、自然災害への備えなど、多様な視点で浦安のことを真剣に考えていることが伝わる素晴らしい発表であった。後半の懇談では、市長と教育総務部長が南小学校の卒業生であることから、子ども達と母校の話で盛り上がった。私には「教育長として一番大切にしていることは何ですか」という質問があり、「浦安の子どもたちが20年後、30年後も幸せでいられるように今、どうしたらよいかを考えることを大切にしています」と答えた。

6月27日には高洲中学校で避難所運営体験を行った。市では、毎年、すべての市立中学校の2年生を対象に防災教育の一環として避難所運営体験を実施している。自然災害はいつ発生するかわからない。平日の昼

間に発生した場合、大人は仕事で地域から離れた場所にいることもあり、中学生の力が地域に大きく貢献することが期待される。2011年に発生した東日本大震災や2024年に発生した能登半島地震では、中学生が避難所の運営に力を発揮した事例もある。避難所運営体験の当日は、生徒がグループに分かれ、仮設トイレの組み立て・撤去、ワンタッチパーティションの設営・撤収、発電機・投光器の設置・始動を順番に体験した。どの生徒も市役所職員の説明を真剣に聞き、仲間と協力して作業に取り組んでいた。こうした経験があるかないかで有事の際の行動は大きく変わる。今回の体験をとおして、生徒達にはいざという時にまずは自分を守る力を身に付けるとともに、地域の避難所運営に積極的にかかわろうとする自信につなげてほしいと願っている。

次に、6月の市議会定例会について報告する。学校教育では、コミュニティ・スクールや部活動の地域展開の進捗に関する事、ICT機器の活用状況やメディアセンター整備の目的等、教員不足への対応についてなどが、また社会教育では、今後のスポーツ施設の充実に向けた市の方針などについて質問があり、あらためて議員の皆様への教育に対する関心の高さを実感した。議員の皆様からいただいた御意見は今後の教育行政の参考とさせていただきます。

市立の幼稚園・認定こども園、小中学校は7月19日から夏季休業期間に入る。今年は暦の関係で例年より早く長期の休みに入ることとなる。夏休みに先立ち、7月5日には、今年もいよいよ東野プールがオープンする。夏季休業期間中も、郷土博物館や中央図書館、各公民館など社会教育施設を中心に様々なイベントを企画している。より多くの子ども達の参加を促し、長期の休みでなければできない体験や新たな発見をしてほしいと願っている。また、民生委員をはじめ、地域の方々の力を借りながら、子ども達の見守りもしっかりと行っていくよう、7日の校長会議で伝える。

生涯学習においては、浦安アートプロジェクト「浦安藝大」のワークショップを7月6日に行う。今回は「まちみる茶会」というテーマで浦安駅前の歩行者用道路、いわゆる5.5m道路に空間装置ダイニングストラ

クチャーという長テーブルを置き、市民が集い対話するというイベントを行う。より多くの市民の皆様に参加いただき、交流をとおしてまちを観察し、気軽に対話するなど、居心地のよい空間を創り出してほしいと思う。

今年も暑い夏になりそうであるが、市民の皆様や子ども達には、様々な体験をとおして、実りのある充実した夏を過ごしてほしいと思う。

以上で私からの一般報告とする。

次に、議事の第3．審議事項に移る。

議案第1号 浦安市立学校職員安全衛生管理規程の一部を改正する訓令の制定についてを議題とする。

事務局より説明を求める。

秋本教育総務部長 本案は、学校職員の安全衛生管理体制において重要な役割を担う、総括安全衛生管理者の職務を担う者を変更するものである。

現行の規程では、総括安全衛生管理者は「教育総務部長」と定められているが、今般、組織体制の見直し及び業務分担の最適化を図る観点から、この職務を教育総務部内のより現場に近い立場で業務を執行している「教育総務部次長」が担うこととしたい。

具体的には、現行規程の第4条第2項に定める総括安全衛生管理者について、「教育総務部長」を「教育総務部次長」に改めるものである。

この改正により、総括安全衛生管理者としての役割が、教育総務部次長に付与されることとなる。これは、日常的な安全衛生管理に関する事項への対応や、関係部署との連携をより円滑かつ迅速に行うことを目的とするものである。

船橋教育長 ただいま説明がなされた議案第1号について、質疑を行う。いかがか。
それでは、これより議案第1号の採決を行う。議案第1号について、事務局の説明のとおり、これを承認することとしてよろしいか。

(「異議なし」の声あり)

船橋教育長 異議がないので、議案第1号 浦安市立学校職員安全衛生管理規程の一部を改正する訓令の制定については承認された。

次に、議案第2号 令和7年度学校地域連携運営協議会委員の委嘱についてを議題とする。

事務局より説明を求める。

秋本教育総務部長 本案は、「浦安市学校運営協議会の設置等に関する規則」第6条第1項の規定により、令和7年度と同委員の委嘱について上程するものである。東小学校長の推薦に基づき、別紙のとおり、学校地域連携運営協議会委員を追加で委嘱するものである。任期については、令和7年7月3日から令和8年3月31日までとなる。

船橋教育長 ただいま説明がなされた議案第2号について、質疑を行う。いかがか。それでは、これより議案第2号の採決を行う。議案第2号について、事務局の説明のとおり、これを承認することとしてよろしいか。

(「異議なし」の声あり)

船橋教育長 異議がないので、議案第2号 令和7年度学校地域連携運営協議会委員の委嘱については承認された。

次に、議事の第4. 協議事項に移るが、本日の上程はない。

次に、議事の第5. 報告事項に移る。

報告事項については、お配りした資料をもって報告とさせていただきます。

それでは、議事の第5. 報告事項に対する質問を受け付ける。

影山委員 35ページにある「もっと知りたいふるさと浦安」開催案内について、夏休みに小学生・中学生が自由研究でふるさとのことを調べているのは非常に素晴らしいと思う。ただ、浦安にフォーカスしすぎず、外との比較であったり、広い視点があってもよいと感じる。例えば、浦安は昔か

らアサリをこうして採っていたとの話もあるが、アサリが東京湾の中でどのように流通していたか、もう少し広げて、姉妹都市であるオーランドと比較して浦安はどうかを調べてみるなど、特に中学生に関しては、もう少し視野を広げられるような企画を考えていただければと思う。

島村郷土博物館長 夏休みの自由研究では、学年に応じて、児童生徒の発達や成長に応じて、興味を持つ内容が変わっている。例えば、小学校低学年であれば、自分の学区の中の公園の遊具や通学路を調べたりする。3・4年生になると、まちの中の橋やバスの停留所に何があるかを調べるようになる。高学年になると、自分のおじいちゃん、おばあちゃんが住む地域と浦安を比較して、人口や産業を調べる。委員のおっしゃるとおり、中学生にはもう少し視野を広げられるよう、さらに学校と連携していく。

船橋教育長 浦安の中にだけいて浦安のよさを知ると、一回外に出てみて、浦安のよさを知るのでは深さが違う。浦安だけに注視するのではなく、他の自治体との比較であったり、外から見た視点をぜひ子ども達に教えて欲しいとふるさと浦安相談会の先生方に伝えていただきたい。

ほかにいかがか。よろしいか。

次に、議事の第6. 教育委員会からの一般報告に移る。

各委員の皆様から、近況報告などについて、一人ずつお願いしたい。

宮道委員 令和7年度市町村教育委員会研究協議会にオンラインで参加した。研究分科会では二つテーマを選び、一つ目は不登校対策について、二つ目は地域と学校の連携・協働について、他の市町村と意見交換を行った。

不登校対策について、浦安市では様々な取組をしており、最近ではUMIも取組の一つとしてある。千葉県で初めて取組をしたと私から報告させていただいた。他の市町村からの意見でいくつか記憶に残ったことを話したいと思う。

不登校対策について、奈良市では閉園となった幼稚園の園舎を活用して、公設のフリースクールを設置している。また、保護者の支援で「は

ぐくみ未来C A F E」を作り、ピアサポートに取り組んでいる。

府中市では月1回パンフレットを配布し、心の健康観察を実施している。月1回でどれくらいの効果があるのか興味を持った。また、浦安市と同じく、学びの多様化学校「かがやき」を4月から開設して、20数名の児童が登校している。

秦野市では教育委員会のなかに「はだのE-L a b」を開設し、令和6年度から秦野eスポーツ協会と連携して、eスクールを開設している。eスポーツを導入することで、デジタルを活用した支援をきっかけに対面の支援に繋げるような取組をしている。

川越市では保護者向けの不登校セミナーを年3回開催している。また、各校にスクールカウンセラーを配置し、6校にはスクールソーシャルワーカーを配置し、資格を持たないさわやか相談員を市内全中学校22校に配置している。

地域と学校の連携・協働について、明石市では、「明石のコミュニティ・スクールフォーラム2024」を開催した。実践発表やパネルディスカッション、参加者による対話を実施した。地域で子どもを育てることをテーマに研究した学校では、地域や保護者と対話・熟議を行い、育てて欲しい子どもの姿を共有しながら、地域教材を作ったり、地域人材を掘り起こしたり、活用したりということを行う。

奈良市では、予算を地域の方に渡して検討してもらい、自由に使っていただくような取組をしている。

前橋市はNHKラジオと学校・公民館が協働して、小学校の授業を行う。気象の授業を地域の放送局の協力を得て実施した。放送局との調整は公民館の職員が担当して学校の負担を減らしながら、連携した取組をした。

最後にCSマイスターより話があった。「各地でコミュニティ・スクールに関連した年3回程度の話し合いがあるのではないかと思います。予算の問題もあるが、できるだけ年3回以上の話し合いの場を確保するのがよいのではないかと話をされていた。

もう一つ、最近のニュースで教育関係の不祥事が続いている。ぜひも

う一度、私達浦安市も足元を見つめ直して、心がけることが改めて必要ではないかと思う。

船橋教育長 浦安市もUMIが開校してもうすぐ3ヶ月が経ち、様々な自治体からの視察も多く来ている。個人的には先生達が生き生きとUMIを紹介している様子が印象的で、教職員もやりがいを持っていることが伝わってくる。子ども達の様子が変化していくのを目の当たりにすることで、教職員もそれをやりがいに感じているのではないかと思う。

他の自治体の話もあったが、子ども達の支援もさることながら、保護者へのケアも大切な部分だと思う。浦安市としても今後の課題として取り組んでいきたい。

また、地域と学校の連携でフォーラムを行ったのは面白い取組だと思う。浦安市でも学校によっては毎月のように地域の方々が集まったり、会議に生徒や児童が入ったり、様々な取組をしている。地域の方が自由に来られるような部屋を作りたいとの声もあり、それぞれが地域の実態に応じて進めている。そうしたことを共有する場があるとさらによいと感じた。

吉野委員 日の出南小学校へ学校見学に行ったときの話である。

最初に国語の授業があり、先生の字がとてもきれいであった。こうした先生に習ったら、きつとうまい字がかける子どもになると思う。学校に赴任した先生は素晴らしく、授業を見ていると先生達は本当になりたくてなったのであろうと思わせてくれるような、活気のある授業を行っていた。

また、ほとんどのクラスでタブレットを使っているのが印象的であった。皆が同じことをできるのはよいと思うが、後ろの方で違うことをやっていたり、違う画像を見ていたりする子どもがいた。4年生の総合的な学習の授業ではSDGsについて学習しており、そのクラスではタブレットがなく、皆でグループを作って意見を出し合っていた。見ている

と、皆が同じペースで進んでいるのがよくわかり、従来からのやり方のよさを感じた。

船橋教育長 黒板に書かれている文字は子ども達にとっては環境の一つになるため、大事なことだと思う。文字以外にも、内容が構造化されているか、子ども達の意見が反映されているかどうかも大事である。子どもは自分の意見が黒板に書かれていると、とてもやる気になったり、意欲的になったりするため、板書は大切である。

タブレットの活用については、活用率を上げていくことも大切であるが、100%を目指しているわけではないと感じた。タブレットを使った方が効果的な学習場面と、自分でノートをとって、自分の言葉で伝える方が力のつく場面とを見極めていく必要がある。

すべての場面でタブレットを使うことを目指しているわけではないが、一方で、子ども達が20年後、30年後に大人になったときには、今よりもさらにパソコンなどのスキルが求められる時代になっていると思う。そのため、スキルは小さい頃から身につけさせてあげることも大切だと考える。タブレットの効果的な学習場面や、今後、どのような力を身につけたいか、スキルアップも含めて、教育委員会でもどこを目指していくか、整理したいと考えているところである。

吉野委員 もう一つ、学校見学した際には女性の先生が多く、男女共同参画が進むなか、教員に関しては早い時期から女性が増えており、とてもよいと思う。

船橋教育長 認定こども園を訪問した際に男性の保育士がいた。年少から年長までの全員がホールに集まって、皆でダンスをしようという場面でダンスの先生にその男性の先生が指名された。高くジャンプをすると、子ども達がワーッと喜んでいて。そして、静かに話をするときは女性の先生が担当しており、強みを活かしていると思った。

影山委員 私も日の出南小学校に訪問したときの感想を3点述べさせていただきます。

一つ目は1年生のクラスがちょうど24名のクラスであり、1学年の人数が小さく割れるような人数で、24人学級が行われていた。教室の中がちょうどいいぐらいの規模であり、これが実現できれば素晴らしいと思った。規定に基づいて、通常は30人ほどになるが、習熟度別の授業を行ったり、補助教員を入れたり、そうした形で小規模なクラス運営が行えるように今後も試行していただければと思う。

二つ目はタブレットの話である。吉野委員と同じように気づいたことは、教員がこちらに注意を向けたいのに、教室の後ろの方でタブレットを見ている児童がいた。児童本人にもよくないことであり、タブレットがあることでどうしても注意がいつってしまう。そのあたりは、教員側から、タブレットはこっち側に向けましょうとか、閉めましょうとか、そうした形で明確な指示があったほうが、児童もわかりやすいと思う。教員が児童の注意をどこに持って行きたいのか、タブレットから背けたいときには強制的に閉めてもらおうとか、それぐらいのことはいいのではないかと思う。

三つ目は小学校でヤマメを飼っていたことである。私はヤマメが大好きで、ヤマメの生き方の話になるが、生まれて、自分の縄張りを確保できたら、ヤマメは一生を川で生きる。親になって子どもを生んで、また死んでいく。でも、縄張りを取れなかったヤマメは海に下る。海に下って、サクラマスになって戻ってくる。ヤマメは1回そこで縄張りを取ることに成功しなくても、もう1回チャンスがある。そうした意味で、1回失敗してもやり直しのチャンスがあると思わせてくれる。ヤマメがいたのは個人的には嬉しかったことで、日の出南小学校でも、居場所がある人は当然それでよい。居場所をうまく見つけられない人も、上手く教員でフォローして、諦めることなく、大人になるまで支援を続けられるような教育ができれば、浦安市としてもよいと思う。

船橋教育長 ヤマメの話であるが、浦安の教育がそうありたい。ここだけが居場所ではなくて、一人一人が自分なりの居場所を見つけてくれたらと思う。

私達大人も多様な居場所を作り、子ども達が自ら居場所を見つけていく力をつけて、20年後、30年後も幸せでいて欲しいというのが私の願いである。素敵な御話ありがとうございます。

次に、議事の第7. その他に移るが、本日の上程はない。

以上で、令和7年度浦安市教育委員会7月定例会を閉会する。

閉 会 (午後3時38分)